

辺野古土砂北九州

発行…2025年3月号・No.59



鹿児島で行われた、「戦争止めよう! 沖縄・西日本ネットワーク」の結成集会の様子。「緩やかにつながりながら、軍事拠点化される各地の情報を共有し、連携・連帯して共同の闘いを行う」ことを確認しました。(写真は琉球新報より)

《目次》

- 【鹿児島】「戦争止めよう! 沖縄・西日本ネットワーク」結成集会…………… 2 ページ
- 【沖縄】宮城島の土砂採掘・土砂搬出現場訪問(宗吉信)…………… 8 ページ
- 【連続エッセイ】名和純さんの小説「ユナ」に思う(浦島悦子)…………… 9 ページ
- 【いろいろ】インフォメーション…………… 10 ページ

写真…松本秀樹・宗吉信・八記久美子



発行 「辺野古土砂ストップ北九州」

鹿児島で「戦争止めよう! 沖縄・西日本ネットワーク」

300人 Zoonでも
200人 **が参加し結成集会**

全国が一つになれば、戦争は止められる

世話人 藤堂均・松本秀樹・宗吉信・八記久美子

各地の情報と闘いを共有しようと、1年余の間、愛媛・沖縄・呉・大分等で集会を開き、今回「沖縄・西日本ネットワーク」が正式に発足しました。当会の世話人会から、3名が鹿児島で、2名がzoomで結成集会に参加しましたので、その内容を報告します。

2・3Pは、
感じていただくことをメ
インに編集しました。



【第1部・地元からの報告】

1部では、大分の池田年宏さんが、沖縄・西日本で進む軍事強化の報告を行い、その後、鹿児島県の馬毛島・奄美大島・さつま町からの報告がありました。この1部の報告は、報告や配布資料などに基づき、各地の主な状況を箇条書きでご紹介しています。ぜひ、このすさまじさを「感じていただければ」と思います。

■沖縄県

- 《陸自・与那国駐屯地》170~200人。2016年開設。沿岸監視部隊配備。2024年3月電子戦部隊配備。新たな地对空ミサイル部隊の配備予定。新軍港建設計画。
- 《与那国分遣班》南西域警戒監視を強化。宮古島分屯基地の一部として2022年に新設。
- 《与那国島・樽舞湿地》県内最大級の貴重な樽舞湿地を「特定重要拠点」として、港湾の新規整備を町が要請。
- 《陸自・石垣駐屯地》570人。2023年に開設八重山警備隊、地对艦ミサイル部隊、地对空ミサイル部隊などを配備。2026年度には電子部隊も配備予定。
- 《陸自・保良訓練場》弾薬庫2棟建設。3棟目計画。
- 《陸自・宮古島駐屯地》700人。2019年開設。警備隊・高射特科群・ミサイル部隊・会計隊・業務部隊が配備。ミサイル基地隣接地に約1.5haの電子戦部隊が配備予定。
- 《空自・宮古島分屯基地》空・海・サイバー攻撃に対応。
- 《空自・那覇基地》南西航空方面隊・第9航空団新設でF15・40機に増強。
- 《陸自・第15旅団司令部》陸自第15旅団が師団に新編。司令部等の地下化。
- 《陸自・勝連分屯地》第7地对艦ミサイル連隊、第304ミサイル中隊新編。

■鹿児島県

- 《陸自・瀬戸内分屯地》弾薬庫建設。古仁屋に「海上輸送群」新設計画。
- 《陸自・奄美駐屯地》各種ミサイル部隊、電子戦部隊、空自移動警戒隊の配備。

《馬毛島》陸海空自衛隊統合巨大基地建設中。全島を軍事要塞化。最新鋭ステルス戦闘機 F35B の発着艦訓練を行う艦艇模擬施設の整備。

《海自・鹿屋航空基地》弾薬庫の建設計画。無人機一時配備。

《さつま町》巨大弾薬庫などを計画中。

■宮崎県

《陸自・えびの駐屯地》弾薬庫増設。

《空自・新田原基地》F35B 戦闘機飛行部隊配備(24 年度～)基地の大拡張計画が進行中。

■熊本県

《陸自・大矢野原演習場》日米共同訓練、幹部候補生訓練等。

《陸自・高遊原分屯地》南西シフトのへり拠点。格納庫新設。

《陸自・北熊本駐屯地》第 8 師団司令部、弾薬庫。

《陸自・健軍駐屯地》南西シフト司令部配備。対艦ミサイル連隊配備。自衛隊熊本病院が南西諸島からの怪我人受入先に。

■大分県

《陸自・大分分屯地》敷戸に長射程ミサイル用の大型弾薬庫 9 棟着工。

《陸自・湯布院駐屯地》水陸機動団第 2 特科団配備。地对艦ミサイル連隊配備予定。

《陸自・玖珠駐屯地》水陸機動団。

《陸自・日出生台演習場》多国間共同訓練の増加。米海兵隊 155 ミリ榴弾砲実弾砲撃演習。

■長崎県

《米海軍基地司令部》MV22 オスプレイや F35B 戦闘機を搭載する強襲揚陸艦「トリポリ」配備。

《海自・佐世保地方総監部》海上自衛隊のイージス艦「ちょうかい」に米国製巡行ミサイル「トマホーク」の発射機能を付加。弾薬庫建設予定。

《陸自・崎辺分屯地》水陸機動団。

《陸自・相浦駐屯地》2018 年水陸機動団新設。

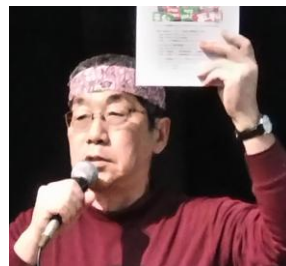
《陸自・対馬駐屯地》2024 年電子戦部隊配備。

■佐賀県

《陸自・目達原駐屯地》日米共同訓練「レゾリュード・ドラゴン 24」実施。

《民間・佐賀空港》民間空港の佐賀空港にオスプレイ配備予定。格納庫や弾薬庫を備えた陸自駐屯地を空港西側に建設中。

《1部の報告者のみなさん》



大分・池田年宏さん

馬毛島報告・長野広美さん

奄美の報告・城村典文さん

さつま町の報告・武さとみさん

※主な内容を簡単に紹介しただけですが、紙面が足りなくて、福岡・山口・広島・島根・鳥取・京都の紹介ができませんでした。

《各地の軍事強化実態報告の後、連帯のアピールがありました・一部をご紹介します》

国会の外から運動をつくっていこう

高田健さん（戦争させない・九条壊すな！総がかり行動 運営委員）

2014年「この国は集団的自衛権を行使してアメリカと戦争する国になる。それを絶対に許してはいけない」と、総がかり行動実行委員会がつくられ、全国各地に広がっていった。その当時閣議決定されたのは、戦争できる国になる安保法制だった。

10年たって今私たちは、戦争できる国ではなく、戦争する国になるということに直面している。みなさんもこの課題に立ち向かっていると思う。

*

2015年の安倍晋三政権の「憲法違反の集団的自衛権の行使」から、2022年末の岸田政権による安保三文書は、改憲も安保条約の改定もそのまま、本質的に憲法を壊していく、あるいは安保条約を変えていく…そういうところに飛躍していると思う。

*

今軍事力が飛躍的に強化している。私たちの国は戦争国家になってきている。今、与野党逆転と言う国会状況だが、野党と言っても、自民党以上に自民党的な政党まで含まれている。

国会でいろいろな問題が論議されるようになり、雰囲気は変わった。しかし、予算委員会の中で膨大な軍事予算がつくられている。予算委員会で、真剣に論議されていない。もうこれ以上国会に期待してられない。だからもう一回国会の外から私たちが運動をつくって、国会議員に働きかけなければいけないと思っている。

*

今日は沖縄・西日本の仲間がこの問題で集まっている。東京も北海道も含めて全国の共通の課題にしていこう。この政権に対して、国会の外から闘いをつくっていく、今日がそういう日になればいいと思う。共に頑張ろう。



総がかり行動運営委員の高田健さん

《平和といのちをみつめる福岡大集会》

～築城基地の米軍基地化・沖縄・西日本の軍事化を許さない～

4月20日(日)13:00～16:00・新田原グラウンド



主催…築城基地の米軍基地化を許さない!京築住民会議・福岡県総がかり実行委員会・戦争への道を許さない福岡県フォーラム 共催…戦争止めよう!沖縄・西日本ネットワーク

日本が抜ければ戦争はできない



第2部の結成集会では、「知り つながり 止める」と題して、愛媛の高井弘之さんが基調提案を行いました。その内容の一部をご紹介します。

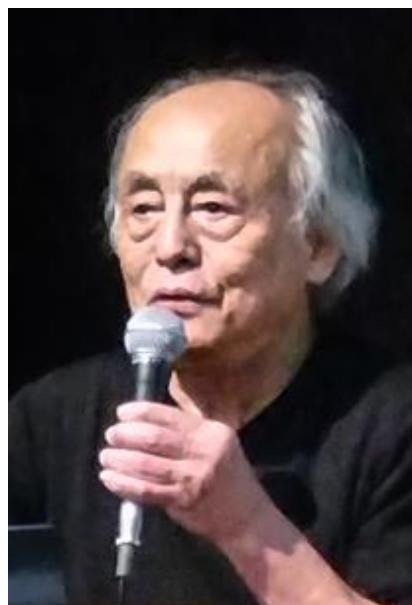
…中国に対する軍事封鎖態勢の構築と戦争は、琉球弧と日本列島を使わなければ成りません。日本国家が協力・参加しなかったら、できない。米国政府・軍部は、はるか遠くから遠征軍だけで、中国に勝利できるという展望は持っていません。

つまり日本が「中国への戦争態勢」から抜ければ、アメリカは中国と戦争ができないのです。したがって日本政府さえそのように変われば、東アジアでの戦争を防ぐことができるのです…

…反基地や辺野古の反対運動をはじめ、全国がつながった運動は多くありますが、この「新たな戦争態勢の構築—戦争準備」に反対する闘いは、それぞれの地域で個別に行われていて、共に連携・連帯しての運動はありませんでした。しかし今、私たちはここからそれを始めます。それは希望です。

沖縄・西日本各地がつながりあっての交流・連帯集会は、昨年4月の愛媛での集会を皮切りに、8月に沖縄、9月に呉、11月に大分で行われ、そして鹿児島で結成の運びになりました。この6月には、沖縄・西日本ネットワークから東京に出かけ、様々な共同行動を予定しています。

そして、これらの活動をステップに、その後は、全国レベルでの共同行動など、全国的な闘いを展開していけないかと考えています。ぜひみなさん、これらの共同行動、連帯のネットワークに参加してください。そして共に闘うことで、国家による戦争を、私たち市民・民衆の力で必ず止めましょう。



ノーモア沖縄戦えひめの会の
高井弘之さん



共同代表は左から、海北由希子さん(平和を求め軍拡を許さない女たちの会・熊本)・高井弘之さん・具志堅隆松さん(ノーモア沖縄戦 命どう宝の会)・呉羽真弓さん(この日は欠席。京都・祝園ミサイル弾薬庫問題を考える住民ネットワーク)の4名の方です。

2月23日は
フィールドワークが
行われました

弾薬庫建設予定地:さつま町へのフィールドワーク

少人数で闘う人たちに連帯

報告 宗吉 信



2023年12月、突然新聞に「さつま町に弾薬庫建設計画」と報道されて、町民は寝耳に水の出来事に驚いたそうです。でも、その後わかったのが、17年に商工会等が「防衛施設誘致請願書」を提出し、18年には町議会が全会一致で採択、更に自衛隊に9回もの請願、防衛大臣に要望書を出していました。町民のほとんどが知らないままに進められていたことです。

今回、ネットワークの結成集会を鹿児島で開催した理由が、基地増強が進む奄美諸島や、巨大基地建設が進む馬毛島、そしてこのさつま町で反対運動に取り組む人たちに連帯したいという願いからでした。“さつま町”と言っても、一体どこにあるのかイメージがわきませんでした。結成集会翌日朝8時半に、車に分乗した約60人で鹿児島中央駅前を出発、北へ70km、3時間近くかかって現地の人たちとの交流会場に着きました。東は霧島、西は薩摩川内市に挟まれた山間地です。自衛隊の川内駐屯地や鹿屋基地への利便性がいいという理由での選定らしいのですが、川内駐屯地の西方10kmには川内原発があります。

「さつま町の弾薬庫問題を考える会」の人たちは、学習会を重ね、毎月町内5か所でスタンディングを行い、町民に問題点を訴えてきています。1時間ほどの交流会の後、用意していただいた豚汁とおいしいご飯で腹ごしらえをし、薩摩総合支所前の交差点で

地元の人と合わせて70人によるスタンディングをしました。残念ながら建設予定地の見学は一部の人たちしかできませんでしたが、地元の少数派で闘っている人たちと交流し、各地から大勢の人たちが反対の意思を伴にしていることを、町内の人たちに伝えられたとしたら、有意義なフィールドワークになったと思います。



上…さつま町の人たちとの交流会 下…さつま町の交差点で70人のスタンディングを終えて





集会参加の感想

■松本秀樹

集会は、現地参加者 300 名、オンライン参加者 200 名で熱気の中で行われた。1 部の《各地の報告》では、地元の鹿児島から、「馬毛島問題」「奄美の自衛隊基地と米軍」「さつま町の弾薬庫」の報告があり、2 部の《結成集会》では愛媛の高井弘之さんが基調提案を行った。私は会場の「戦争を止める」この熱気を地元を持って帰り活動をしていきたいと思った。

■宗吉信

一年近くの準備を重ねて、やっとネットワークが結成できました。とても熱気のある集会で、今も各地から団体・個人の参加希望が続いています。個人的には、このネットワークの担当として、ちゃんとした役割を果たせておらず、内外とも迷惑のかけ通しで申し訳なく思っております。

6 月には東京要請行動が計画されています。いずれは沖縄・西日本だけでなく、全国を網羅するネットワークへと拡げていくこととなります。各地の力をつないで、更に大きな力にしていきましょう！

■藤堂均

結成集会に参加するつもりでいたのだが、直前に風邪をひき、やむなく ZOOM 視聴で参加した。開始当初、会場からの音声が小さく聞き取りにくかった。かさねて、妨害と思われる意味不明の奇声や「バンザイ」の連呼がたびたび大音量で介入してきたりということもあったが、担当者のご尽力で間もなく改善された。

この集会で報告のあった、馬毛島でも、奄美でも、さつま町でも、自衛隊や米軍が豊かな自然を踏みにじって訓練をしたり、人々の穏やかな生活の場に割り込んで軍事施設を作ろうとしたりしている。中国かどこかの軍隊が侵略してくるという話以前に、日米両軍に日本は侵略されているのだと、改めて思った。

■八記久美子

今から 12 年前、私は門司の土砂が辺野古に搬出される計画があることを知りました。私達は、搬出予定地が集まって結成した「土砂全協」に加盟し、その一員として共にたたかう中で、とりあえず、小豆島・山口・門司の土砂は搬出をストップすることができました。一つの団体では勝てない闘いも、結集すれば未来が開けることを実感しました。だから、政府対国民の構図ができれば、戦争も止めることが出来ると思っています。その構図への貴重な第 1 歩が、一年余りの準備期間を経て開かれたこの集会でした。「戦争をしない国・日本」をめざして、いま心を新たにしています。

忍耐強く
したたかに

沖縄「宮城島」の土砂採掘・搬出現場

闘いの中で生まれた「むかで歩き」

世話人 宗吉 信

2月初めに名護に行ってきました。12月から塩川港での積み出しも再開されたということで、今回はその抗議行動に参加することが一番の目的でした。一日目は風が強くて塩川港からの搬出は中止。そこで11月下旬から埋め立て土砂の搬出が始まった宮城島に行ってみました。

辺野古からうるま市の中心部まで40km近く。更に勝連半島を抜けて海中道路を通り、平安座島(へんざじま)を經由して橋を渡って宮城島(みやぎじま)に入りますが、土砂搬出現場は島の一番奥の方で、たどり着くまで2時間近くかかりました。現場は、すぐ先の伊計島(いけいじま)に行く観光客の車もたくさん通る道路沿いで、抗議行動の人たちや警備員、機動隊員がたくさんいるので、すぐわかりました。

ちょうど昼ごろでしたが、既に午前中の搬出で23km離れた中城湾港(沖縄市)まで土砂を降ろしに行ったダンプが戻って来て、何台も採石場の中に入って行きます。狭い道で渋滞を作って一般の車に迷惑をかけるのを避けるためか、入って行く車を阻止する行動は行われていません。横断幕やプラカードを持って、通行する一般の車に手を振ってアピールしたり、ハンドマイクで抗議の意味を呼びかけたりします。

でも、入ったダンプが土砂を積んで出て行こうとする時、横断幕を二つ連ねて長い列を作って牛歩します。名付けて「むかで歩き」。個人がバラバラに牛歩していたら機動隊に阻止されてしまっていたので、みんなで隊列を組んで、幅10mぐらいの出口を10分以上かけて牛歩します。一度の搬出に一回しかできないそうですが、機動隊もそれだけは黙認するようになっていました。搬出が始まってわずか2ヶ月余りですが、すでにこんなユニークな戦術が出来上がっていました。沖縄の人たちは忍耐強くしたたかに運動を続けています。

今回の滞在中、塩川港の抗議行動には1日しか参加できませんでしたが、以前と同じように搬入するダンプの台数を4分の1に減らす効果を上げていました。みなさん、是非塩川港での抗議行動にも参加しましょう！



宮城島での「むかで歩き」の様子



宮城島の位置

浦島悦子の連続エッセイ 《南の島から》 No.59

名和純さんの小説「ユナ」に思う

ヘリ基地いらない二見以北十区の会共同代表／フリーライター



前々号でお知らせした名和純さんの小説「ユナ」が掲載された『新沖縄文学』96号が、名和さんから直々に送られてきた。

『新沖縄文学』は1966年に創刊され、「激動の沖縄現代史とともに歩みながら沖縄の文化を担ってきた雑誌(96号座談会「沖縄文学の今を語る」の呉世宗さんの言葉)だ。1993年に95号で休刊。32年ぶりに復刊された。

私と『新沖縄文学』の縁は、沖縄移住の翌1991年、新沖縄文学賞に応募して「佳作」を頂いたことだ。その授賞式で、当時、選考委員を務めておられた芥川賞作家・大城立裕さんに「頑張れよ！」と激励していただき感動したのに、その後は基地や自然破壊など沖縄が直面する問題への取り組みに忙殺されて、「小説」からは遠ざかってしまった。

送っていただいた雑誌に、名和さんのメッセージと「ユナ」に登場する5種の貝の写真が添えられていた。タイワンキサゴ、キルン、ナミノコガイ、オガタザクラ、オニニオガイ。どれも魂を奪われそうに美しい貝(殻)だが、そのほとんどは琉球列島では絶滅してしまったか絶滅寸前だという。

ユナは彼らの棲む砂洲、あるいは海中

の砂泥底であり、命を生み育む場所だ。与那原湾は「ユナバル湾」と読む。まさに命を育む美しい湾だった。そこが、壊され、埋められ、コンクリートで固められ、吐き気を催す悪臭の漂うヘドロと化した悲しみ・痛み…。しかし貝(殻)たちはそのヘドロの中から、生きていた時よりも格段に美しい光を放ちながら私たちの前に姿を現す。埋め立て地の下を流れてきた地下水がヘドロを割り清らかなユナガー(川)となって噴出する。

名和さんは、「沖縄固有の渚文化の記憶継承のために」この小説を著わしたという。「ユナ」とそこに息づく貝たちの声を聴いてほしい、と訴える。

海に囲まれた島々で、太古の昔から人々は渚(汀)と共に暮らしを営み、心身を育んできた。渚は魚や貝や海藻を採る場所であると同時に、人間界と自然界、内界と外界が交わるところ・境でもあり、生と死とのあわい、水平線のかなたにあるニライカナイへの出入り口でもあった。「渚文化」というものが確かにあったはずだ。それを貝(殻)たちは私たちに伝えようとしている。私も渚文化継承の一端に加わりたいと密かに思った。

名和さんの次作が楽しみだ。

(うらしまえつこ)

■北九州空港にシーガーディアン

昨年の会報1月号でお知らせした海上保安庁の無人機、シーガーディアンが北九州空港に配備された。今年の1月31日から試験運用を始め、2025年度から本格運用開始、現在3機体制であるが、10月以降に2機追加され5機体制で運用するという。

第7管区海上保安本部(本部は北九州市門司区)の北九州航空基地(北九州空港内)では、中型機5機、小型機5機、中型ヘリコプター4機の体制であったところへ、新たにシーガーディアンが配置されたのである。それに対応するためであろう昨年9月に新しく48億円をかけて格納庫が増設されている。

中国を見据えて配置されたシーガーディアンが収集した情報は自衛隊はもとより、米軍とも共有されるだろう。シーガーディアンの製造元、アメリカの企業ジェネラル・アトミクス・エアロノティカル・システムズは売却利益をあげ、米軍は労せず情報を得ることになる。

■北九州市に避難者1万2252人

台湾有事の際、国は沖縄県の先島諸島の住民のみなさん(観光客含む)を、九州・山口に避難させると言っていたが、具体的な人数が先月の新聞に載った。

福岡県が公表した案では、当初の1か月で石垣市から約2万7000人、宮古島市から約2万人、あわせて4万7397人。そのうち北九州市では、宮古島市から1万2252人を受け入れるという。国は戦争をすることを前提に、弾薬庫をつくりミサイルを配備しているが、戦争させないための動きは、全く見えない。

■地震の確率が高い場所に敷戸弾薬庫

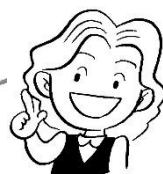
あつ!
富野弾薬庫も

2月15日、日本科学者会議大分支部主催のオンライン講演会「無謀!強行される基地弾薬庫新増設～能登半島地震に学ぶから」があった。講演をしたのは立石雅昭新潟大名誉教授(地質学)。

この講演で立石名誉教授は、別府湾から同湾西側に地震が起こりうる活断層が密集していると指摘。大分市周辺の広範な地域で、今後30年以内に震度6弱の地震が起こる確率が高いとし、「これだけ地震が起こる確率が高い場所に弾薬庫を造っていいのか」と疑問を投げかけた。

立石名誉教授の言う「弾薬庫」とは、最近会報でたびたび紹介している大分市の敷戸弾薬庫のこと。そういえばわが市の富野弾薬庫も、そばを小倉東断層が走っている…。地震大国の上に立つ原発も怖い、弾薬庫も怖い。

「連続エッセイ」の浦島悦子さんと
「うみかじ」のうみさんからメッセージが届きました
ご協力をお願いします



当会の会報に連続エッセイを書いている浦島悦子さんは、「へり基地反対協議会」の共同代表をされています。

へり基地反対協は、辺野古・大浦湾での海上抗議行動を始めて 20 数年になるそうです。その長い活動の中で、船・台車・車の損傷は頻繁で、そのつど修理・交換を重ねながら運動を進めてきたそうですが、その老朽化が著しく、200 万円余りの費用が必要だそうです。《ご協力いただくと幸いです》

■振込先は下記の通りです。 ※振り込みの際に「船等修理のため」とご記入ください。

振込先…ゆうちょ銀行 01700-7-66142 「へり基地反対協議会」

他行からは…ゆうちょ銀行 一七九店 当座預金 0066142

口座名「へり基地反対協議会」

前回会報に同封した「うみかじ」に、A5 の用紙が挟まっていた（読まれた方には重複になりますが…）、内容は「うみかじ」の編集者・うみさんからのメッセージで、【「サバニ」と言う空間を那覇市にオープンしました。映画上映会・ねそべりの日・アートイベントやワークショップなど、人が行きかう空間を、少しずつつくっています。無理のない範囲で「投げ銭」をお願いできたら助かります】ということでした。

《ご協力いただくと幸いです》

■振込先は下記のとおりです。

振込先…琉球銀行 本部(もとぶ)支店 店番号 401 普通合座 0487974

名義 ZINE うみかじ編集委員会

連絡先:090-7484-9699 / sadaaaa2024@gmail.com

住 所:那覇市松川 2-4-1 泉産業ビル 315 スペースサバニ



《辺野古土砂北九州・今後の予定》

- 3月05日(水)…《会報発行作業》14時～ 生涯学習総合センター・情報学習室
- 3月07日(金)…《土砂全協・オンライン学習会・海砂採取問題》zoom
ミーティング ID: 810 0338 9654
パスコード: 586519
- 3月09日(日)…《さよなら原発!3.9 北九州集会》勝山公園(図書館横)
12:30～13:00 舞台傍に集合した後「奄美の土砂」の署名取り
13:00～14:00 集会開始
- 3月22日(土)…《小倉駅前宣伝》16:00～
- 3月26日(水)…《世話人会》14時～ 生涯学習総合センター・情報学習室
- 4月02日(水)…《会報発行作業》14時～ 生涯学習総合センター・情報学習室
- 4月20日(日)…《平和といのちをみつめる福岡大集会》14時～
新田原グラウンド
- 4月26日(土)…《小倉駅前宣伝》16:00～

「辺野古土砂ストップ北九州」への入会は

年会費(個人 1000 円・団体 3000 円)です。090-4482-0043 大野保徳までお電話いただければ、会報をお送りします。

【辺野古土砂北九州の口座は】 ゆうちょ銀行 記号番号 01700-7-166911

【他金融機関から振り込む場合は】 ゆうちょ銀行 当座 一七九店 0166911

加入者名…「辺野古土砂ストップ北九州」

【財政・入会・退会に関するお問い合わせは】

090-4482-0043 大野保徳(財政担当)まで。

※領収書は、現金で会費をいただいた方のみお送りし、振り込みの方にはお送りしていません。ご了承下さい。

《辺野古土砂ストップ北九州》

メールアドレス…kanpanerura888k@gmail.com

〒803-0816 福岡県北九州市小倉北区金田 1-3-32-308 八記方

八記 080-1730-8895・南川 090-2853-7116・藤堂 090-6299-2608

2025 年 3 月 5 日発行